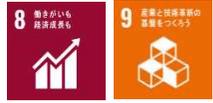


# 浦河港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども浦河港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種取組を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、浦河港など管内の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



## 日本の製鉄業の発展を支える

かんらん岩は、製鉄の過程で発生する不純物の除去に必要な鉱石で、国内では浦河港背後の様似町と日高町の2箇所のみで採掘されています。かんらん岩は、浦河港から全国の製鉄所に移出され、生産された鉄製品は自動車や家電を始め様々な製品の材料となっています。現在は、かんらん岩を積み出す岸壁の静穏度向上を図るため外郭施設の工事を実施しています。



かんらん岩積み出し状況



## 地域の持続可能な水産業を促進

えりも港の近隣に位置する襟裳岬周辺海域は海の難所であり、多くの海難事故が過去に発生しているところです。また、えりも堆を擁した豊富な水産資源を有する世界有数の漁場の1つが位置していることから、避難港としての役割を果たしています。現在は、港を利用する船舶が安全に避難出来るように外郭施設の工事を実施しています。



水産物陸揚げ状況



## みなとを核とした魅力あるまちづくり

浦河港湾事務所では、周辺の学校や町民などを対象に港湾施設を中心とした「みなと」に親しんでもらうために「みなと見学会」や「出前講座」を開催し、港の役割に関することなどについて紹介しています。加えて、クルーズ船の寄港時には地域一丸となっておもてなし活動を進めています。このような取り組みを通じてみなとを核としたまちづくりにも貢献していきます。



みなと見学会実施状況



クルーズ船係留状況

【目標】 2022年度:2回/年 → 2030年度:3回/年 ※みなと見学会+出前講座